

- 障害のあるこどもの意見はどのように聴くのか。言葉や文章だけでは表現しきれないところがあるので、意見の聴き方も工夫する必要がある。
- 一時保護所において、通学などの基本的な権利をどう守っていくのかということも計画に盛り込んで欲しい。
- 未委託の里親さんのほか、里親さんや里親支援をされている方のレベルアップ、スキルアップも大事だと思う。
- 里親等委託率を伸ばすためには、里親の登録を増やす必要がある。どのようなタイプの里親さんを増やしたいのかイメージを一致させなくてはいけない。
- 里親制度の普及啓発やリクルートについて、福祉関係者だけで行うには限界がある。専門家に委ねたり、アドバイスを得ながら行うなど、プロを活用することも必要ではないか。
- 児童養護施設等において、専門性の高い職員をどのように確保していくのかということも位置づけていく必要がある。小規模かつ地域分散化が進む中、養育理論や方法論など実践を通じてどう次に繋げていくのか、そのためには職員が辞めずに続けていけるような環境をどう整えるのか、というところがあっても良い。